

記者発表資料

大人から子どもまでが親しめる水辺空間づくりが始まります！
～中元寺川後藤寺地区の親水施設整備に着手～

この度、田川市内を流れる中元寺川後藤寺地区において、地域の人々が安全に川に親しめる、新しい水辺の拠点整備を行うこととなりました。

この事業は、日常の散策や釣りを始め、子ども達による水遊びや環境学習、カヌー等の自然体験、地域のイベント等、地域の大人から子どもまでが利用可能な親水施設を整備するものであり、これにより河川美化意識の向上や、地域の活性化に繋がっていくことが期待されます。

具体的な整備内容については、地元住民団体や学校関係者、行政等により構成された「後藤寺地区子どもの水辺協議会」にて現在検討中です。

今回は、具体的な整備計画を策定するための「第3回 後藤寺地区子どもの水辺協議会」を以下のとおり開催します。これまで協議会の下部組織である「作業部会」で活動してきた内容及び検討してきた整備内容については別紙のとおりです。

第3回 後藤寺地区子どもの水辺協議会

1. 日時 : 平成21年8月5日(水)19:30～
2. 場所 : 奈良公民館(田川市大字奈良151-1)
3. 内容 : (1)作業部会によるこれまでの活動内容の報告
(2)整備計画案について

事業概要 ※今後、計画が変更する場合があります。

- ◆事業箇所 : 遠賀川水系中元寺川(春日橋～十二祖橋 約1km)
- ◆整備内容 : 左岸側 遊歩道、階段、ベンチ等
右岸側 親水公園(カヌー乗り場、多目的広場、駐車場等)
- ◆工事期間 : 平成21年11月～平成22年3月末(予定)
- ◆事業主体 : 国土交通省 遠賀川河川事務所

位置図



現地の状況



中元寺川後藤寺地区(松ノ木橋から下流の状況)

■問い合わせ先■

【後藤寺地区子どもの水辺協議会】

作業部会 会長 身吉 正幸

(TEL : 090-8419-2754)

【田川市】

田川市教育委員会 教育部 生涯学習課 課長補佐 平川 裕之 (TEL : 0947-44-5110)

【国土交通省】

遠賀川河川事務所 河川環境課 課長 松永 泰裕
係長 武石 博章

(TEL : 0949-22-1830)

1. 「後藤寺地区子どもの水辺協議会」とは？

中元寺川・後藤寺地区における河川の整備、利活用、管理等について検討し、安全で親しみやすい自然豊かな水辺を創出するとともに、更なる環境学習を推進を図り、川を拠点とした人及び文化を育む豊かな地域社会の実現に寄与することを目的に、地元住民、市民団体、学校関係者、自治体及び河川管理者等により構成された協議会です。

また、運営を円滑に進めるための下部組織として「作業部会」も設置しています。

後藤寺地区子どもの水辺協議会 構成団体

地元住民	後藤寺校区・弓削田校区活性化協議会、地元区長
市民団体	中元寺川・川づくりの会
学校関係	田川市立後藤寺中学校、後藤寺小学校（各校長及び教員、PTA会長）
教育委員会	田川市教育委員会 教育部 生涯学習課
自治体	田川市 建設部 土木課
河川管理者	国土交通省 遠賀川河川事務所

作業部会 構成団体

市民団体	中元寺川・川づくりの会
学校関係	田川市立後藤寺中学校、後藤寺小学校（各教員、PTA会長）
教育委員会	田川市教育委員会 教育部 生涯学習課
自治体	田川市 建設部 土木課
河川管理者	国土交通省 遠賀川河川事務所

2. これまでの活動内容について

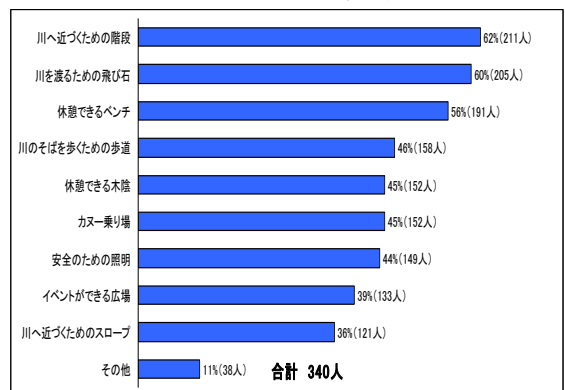
まずはどのような施設が必要かを検討するための意見抽出や現地調査を行うとともに、既に整備されている場所の先例地視察や、小中学生へのアンケートを実施しました。

また、小学生を対象としたリバースクールや整備予定場所の草刈りを行うなど、**整備後の利用や維持管理を行っていくための体制づくり**も併せて進めています。

これまでの主な活動内容

平成20年1月	整備範囲や必要施設について意見抽出
7月	整備予定箇所の現地調査
9月	後藤寺地区子どもの水辺協議会準備会開催
11月	後藤寺地区子どもの水辺協議会発足
12月	作業部会設置
平成21年2月	美化活動(草刈り)実施
3月	先例地視察(遠賀川上臼井地区、溝堀地区)
4月	美化活動(草刈り)実施
5月	中元寺川リバースクール開催(後藤寺小・弓削田小)
5月	アンケート調査実施(後藤寺中、後藤寺小、弓削田小)

小中学生へのアンケート結果(欲しい施設は?)



美化活動(草刈り)



先例地視察



リバースクール

3. 整備方針(基本コンセプト)

施設の整備内容を検討するにあたっての方針(基本コンセプト)を以下のとおり設定しました。

整備にあたっての基本コンセプト

◆みんなが集まる水辺の整備(集いの水辺)

<河川利用の促進>

- ・様々な地域や年代の人々が集い、ふれあい、地域の活性化に繋がるような場とする。
- ・日常の利用だけでなく、川を利用したスポーツ等地域のイベントにも対応できる場とする。

◆楽しく学べる水辺の整備(学びの水辺)

<河川環境学習の促進>

- ・中元寺川に触れ、様々な体験を通じて自然環境等を学べる場とする。
- ・自然教室等による地域の方々子どもたちの交流により、自然だけでなく、地域の伝統・文化を継承できる場とする。

◆安全に歩ける水辺の整備(のんびり水辺)

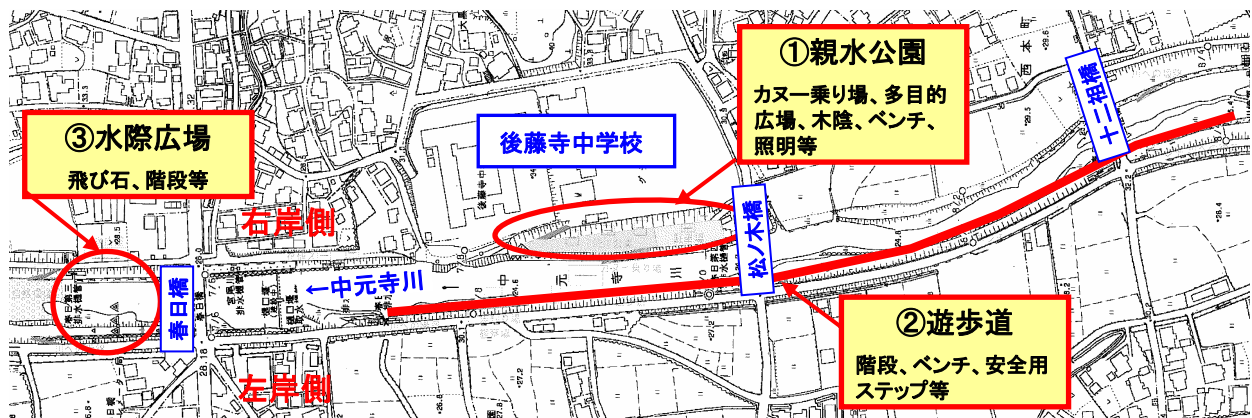
<歩行者の安全性の向上>

- ・車両通行の多い堤防ではなく、安全でくつろぎのある水辺を歩くことができる場とする。
- ・地域の方がいつでも散策や休息ができる場とする。



4. 整備内容(検討段階)

上記のコンセプトのもと、現地調査やアンケート結果などを踏まえ、整備範囲を決定するとともに、**利活用や維持管理、安全面など色々な場面を想定**し、必要な施設を現在検討しています。
 なお、**施設の内容は今後開催する協議会によって決定**します。



※今後の協議会の検討状況によって変わる場合があります

①親水公園の整備イメージ

現況



整備イメージ



②遊歩道の整備イメージ

現況



整備イメージ

